

2005年度質量分析学会同位体比部会プログラム

(2005年11月9日-11月11日、高知海洋コアセンターおよびホリデイイン高知)

M: 講演時間15分 + 質疑応答5分の計20分

N: 講演時間25分 + 質疑応答5分の計30分

Y: ゆかたセッション

S: 学術講演、特別講演

一鈴: 講演終了3分前、二鈴: 講演終了時間、三鈴: 演者交代

11月9日(水)

(場所: 高知海洋コアセンター、セミナー室 & エントランスホール)

13:00-13:50

受付@高知コアセンター (Registration@Kochi Core Center)

13:50-14:00

Guidance

座長: 鈴木達也、浅原良浩

14:00-14:30

01N01

アコおよびアンミン錯体における同位体分別

垣内正久(学習院大理)

14:30-14:50

01M02

カラム分離試料中のホウ素同位体比測定

苑田晃成、榎田洋司、廣津孝弘(産総研・健康セ)

14:50-15:20

01N03

ストロンチウム・セリウム・ネオジムの同位体分別と安定同位体地球化学への応用

大野 剛、平田岳史

15:20-15:40

01M04

高分解能マルチコレクタICPMS, Nu Plasma HRを用いた応用実例

服部道成(セキテクトロン)・高久雄一(環境科学技術研究所)

15:40-16:00

01M05

加速器質量分析法を用いた³²Si分析法開発と海洋化学トレーサーとしての利用可能性

本郷やよい1), 藤村匡胤2), 永井尚生3), 阿瀬 貴博4), 松村 宏5), 松崎 浩之6): 1)理化学研究所 先端技術開発支援センター, 2)日本大学文理学部, 3)日本大学大学院総合基礎科学研究科, 4)東京大学理学系研究科, 5)高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター, 6)東京大学タンDEM加速器研究施設(MALT)

16:00-16:40

short presentation for posters (1min/person)

16:40-18:30

ポスターセッション (poster session)

18:30-20:00

ホリデイイン高知へ移動 (Shuttle bus to Holliday inn Kochi)、夕食 (Dinner)

座長: 斎藤和男 (ホリデイイン高知、ホール桂月)

20:00-20:40

01Y06

南極ドームFuji基地水槽中ガラス質球粒はやっぱり地球物質だった?

福岡 孝昭(立正大) 田澤 雄二(京大) 星 有哉(立正大)

11月10日(木)

(場所: ホリデイイン高知、ホール桂月)

座長: 三浦弥生

09:00-09:20

02M01

ヘリウムの枯渇度から計るウェッジマントルの成熟度

山本順司、竹村恵二(京大・地熱研)

09:20-09:50

02N02

極微量同位体分析時に予想される同位体比の統計的諸性質について

大澤崇人(原研・微量分析グループ)

09:50-10:10

02M03

New Perspectives in Noble Gas Measurement

John M. Saxton (Nu Instruments Ltd.)

休憩 (refresh time for 10 min)

座長: 田中剛

10:20-10:40

02M04

ピルバラのヘマタイト化したグリーンストーン: 27.6億年前以前に地球表層環境はすでに酸化的であった?

鈴木勝彦(IFREE, JAMSTEC), 加藤泰浩(東大・院・工学系), 中村謙太郎(IFREE, JAMSTEC), 根建心具(鹿児島大・理・物理), 日下部実(岡山大・地球物質科学研究センター), Hickman A. H. (西オーストラリア地調), Bevacqua David C., 大本洋(ペンシルバニア州立大)

10:40-11:00

02M05

隕石と地球試料のタングステン同位体組成

入澤啓太、平田岳史

11:00-11:50

02S06

惑星物質の微量元素および同位体の精密分析法の開発研究を手がけて

中村昇(神戸大・自然)

11:50-13:00

昼食 (Lunch)

- 座長：長尾敬介
- 13:00-13:30 02N07 火山ガスブルーム中の一酸化炭素の安定同位体組成を利用した噴気温度推定の可能性について
角皆 潤・館脇裕之・小松大祐・井尻暁・中川書子(北海道大学大学院理学研究科)
- 13:30-13:50 02M08 Nano-SIMSを用いたシラスウナギの耳石分析
佐野有司、高畑直人、白井厚太郎、天川裕史、黒木真理、塚本勝巳(東大海洋研)
- 13:50-14:40 02S09 支離滅裂の35年：ニオス湖とTFL
日下部 実(岡山大学・地球研)
- 休憩(refresh time for 10 min)
- 座長：谷水雅治
- 14:50-15:10 02M10 人間の吐息の一日における炭素同位体比変動について
松田准一(大阪大)、丸岡照幸(筑波大)
- 15:10-15:30 02M11 シリア遺跡の環境放射能変動調査計画とその意義ー堆積学を基盤としてー
星野光雄・田中剛・中村俊夫・吉田英一・東田和弘・桂田祐介
- 15:30-16:00 02N12 鉛同位体比から見た考古学 - 中国の青銅器時代 -
平尾良光(別府大学)
- 休憩(refresh time for 20 min)
- 座長：兼岡一郎
- 16:20-16:50 02N13 カナダ アカスタ片麻岩体中ジルコンのU-Pb年代及びLu-Hf同位体組成から読み取る初期地殻成長
飯塚毅 §, 堀江憲路 †, 小宮剛 §, 丸山茂徳 §, 平田岳史 §, 日高洋 † (§ 東工大・地惑, † 広大・地惑)
- 16:50-17:10 02M14 炭酸塩岩の鉛ー鉛年代
可児智美(熊大・理)
- 17:10-17:50 02S15 自称 日本海作戦 その後
能田成(熊大・理)
- 休憩(refresh time for 10 min)
- 座長：下田 玄
- 18:00-18:30 02N16 超背弧地域に産する新生代玄武岩類の成因：パタゴニア北部，ソムンクラ 台地を例に
折橋裕二(東大・地震研)・元木昭寿(リオデジャネイロ州立大・地質)・Muguel Haller(パタゴニア国立大・理)・平田大二(神奈川県博・生命の星・地球館)・角野浩史(東大・理)・岩森 光(東大・理)・三部賢治(東大・地震研)・長尾敬介(東大・理)・安間 了(つくば大・自然)
- 18:30-18:50 02M18 フィリピン海プレートのスラブメルティング
柴田知之(京大・地熱), 伊藤順一(産総研・地調), 氏家治(富山大・理), 竹村恵二(京大・地熱)
- 18:50-21:00 ホール高砂にて懇親会(banquet)

11月11日(金)

(場所：高知海洋コアセンター(Kochi Core Center)、セミナー室)

座長：長尾敬介

- 09:20-10:20 03S01 質量分析は今が旬。イオン化法の基礎と最前線
荒川隆一(関西大工学部)

座長：鈴木勝彦

- 10:20-10:40 03M02 EA/IRMSを用いた窒素・炭素安定同位体比測定の微量化
小川奈々子・北里洋・大河内直彦(JAMSTEC-IFREE)

- 10:40-11:00 03M03 ICP-MSインターフェイスでのイオンの挙動の簡単な考察
谷水雅治(海洋機構高知コア研究所)

- 11:00-11:30 03N04 レーザー試料導入法の開発
平田岳史(東工大・理)

- 11:30-12:00 ビジネスミーティング(business meeting)

13時よりコアセンター内のラボツアーの予定(laboratory tour in afternoon)